

風の谷のナウシカの映画におけるフェミニズムの分析

序論

日本は第二次世界大戦後の西洋理解参入以来、社会生活のすべての側面において大きな変化を遂げてきた。産業発展から経済に至るまで、すべてがより現代的な方向に変化している。社会生活の価値も含む。もともと家父長制国であった日本は、19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけて徐々に変化した。フェミニズムの考え方がは初めて入っている、徐々に発展した。この動きは 1970 年代の人々の間でのみ一番的であった。

この用語は 10 年後に使い始めたばかりである。フェミニズムという用語は、男性と女性の平等を求める理論と女性の権利を得る動きである。時間のとともに、フェミニズムの意味だけではなく、フェミニズムの理解は拡大し続けている。動的な理論として、フェミニズムは、世界の社会的状況との理解を調整している。フェミニズムは、自由主義フェミニズム、急進的フェミニズム、マルクス主義主義と社会主義フェミニズム、精神分析、エコフェミニズムなど様々なタイプを発展させている。

エコフェミニズムは、この研究の基本分析の基礎として使用する理論である。アプローチは、フェミニズムであり、記述的な分析方法である、これらの方法とアプローチ, の使用理由はこの 研究の問題の定式化に合わせて選択された。記述的な分析方法は、研究に関連する事実またはデータを研究、分析、記述することによって行われる方法である。Sugiyono (2009:29) によれば、この方法はオブジェクトのアイデアを記述することを目的としたメソッドである。Sholwater が明らかにしたよう

に、フェミニズムのアプローチは女性の分析に焦点を当てた研究である。このアプローチは、女性の主人公である映画「風の谷のナウシカ」に焦点を当てているために選ばれました。Djajanegara (2000:27) の意見によれば、女性を特徴とする作品は、フェミニズムのアプローチが使用では、フェミニズムの寒天から研究することができる。

本論

エコフェミニズムは、多くのフェミニズムの一つのタイプである。この言葉は、1974 年に Francoise d'Eubonne に初めてあった。フェミニズムは人間と自然の関係があることを証明しようとするである。この寒天は人間が視線に対するの抑圧のすべての形を結びだけではなく、自然とお互いを支配する人間の努力にしょうてんをあてる。エコフェミニズムであることである、精神的なエコフェミニズムと社会主義的エコフェミニズムがあり、それもこの研究の基礎分析になる。精神的、と社会主義的なエコフェミニズムは 名前のように、2 つの異なる範囲をもっている。霊的なエコフェミニズムが個ひとの実証を中心にするがある。社会主義的エコフェミニズムはその逆である。これらのエコフェミニズムには重要な点がある。それらは全てこの映画「風の谷のナウシカ」にある。

社会主義的エコフェミニズムにおける重要なポイント：

1. 生態学的問題解決には、フェミニストの視点が含まれるべきである。
2. 自然の理解。
3. フェミニストの理論と実践は、生態学的な視点を組み込むべきである。
4. 女性の抑圧と自然の圧迫との間には関連性がある。

3 つの初期点はお互いに関係しており、自然を理解することなく、生態学的問題を解決することはできない。これは、トルメキア攻撃の後にナウシカと彼女の人々がその地域に遭遇した問題に対処する行動を通じて実証されている。

それは、ナウシカが国民にトルメキアの事件のために散在する奉仕に対して行動を起こすと演出する。彼らは全体の竹をもやすだけではなく、まだ健康な植物を傷つけないように、特定の部分だけ燃やす。彼らの行動から、間接的に、彼らは健康な植物を感染させずに保つ方法を検討していることが示されている。これは、生態学的視点を用いてその問題を解決することを証明している。フェミニズムの視点から、後に残された昆虫に円滑に近づいて森に持ち込んだナウシカの行動を通じて実証される。これは、フェミニズムの一つ特徴で親切さのことである。

次の理論は、主人公としてのナウシカの行動に焦点を当てた霊的な精神的のエコフェミニズムである。精神的のエコフェミニズムは3つのポイントがある：

1. 自己意識。
2. 相互接続性。（人間と自然とのかんけいせい）
3. 保護。

最初の点は、自分の国の問題に直面したときのナウシカの注意を示している。例えば、ナウシカは最初のトルメキア機がその地域にいた時に反応した。彼女は迅速に軍隊を助けるように国民に命じたそして、戦争の原因となる自国の反乱を避けるため、彼女はトルメキアの囚人になるために自分自身を犠牲にした。ナウシカは、彼女の父親の任務をリーダーとしてだけでなく、彼の人々の保護者としても素早くやっていました。こ

れは、自己認識の存在で、その国で起こっている生態学的問題を解決できるナウシカであることを証明しています。

ナウシカと自然環境との関係は、事故に加えて、ナウシカのもう一つの姿勢です。この第2回のポイントは、自然と人間との関係を全体として優先している。このポイントは、人間と自然の物理的と心理的の関係を強調している。たとえば、ナウシカとおむの通信時。それは人間と自然の間に物理的な接続と精神的な繋がりがあることを示している。最後のポイントは、保護です。保護は常に女性につきつく1つのライフスタイルである。保護して、人は地球を作り修理することができる。この最後の特性は、前の点に関連している。自然とのつながりで、人間の中で自動的に世話をする。多くの場面は環境や友人に対するナウシカの心配を反映している。ナウシカはアスベルを攻撃するのを助けます、前に、彼の敵であるクシャナを助けた。ナウシカはすでにクシャナが既に囚人であったときには恣意的に扱わなかったが、ナウシカは、クシャナと彼の軍隊をトルメキアに帰還させ、被害者を追加することなく結集した。

結論

上記のすべてのうち、エコフェミニズムは、どちらも2つの異なることに焦点を当てている。個々の適用と社会的エコフェミニズムに焦点を当てた精神的なエコフェミニズムは、環境の状態に焦点を当てており、これは広範な採用を意味する。どちらも共通しているが、どちらも、女性による解放と、人間による抑圧行為の本質を解放しようと努めました。さらに、精神的および社会主義的なエコフェミニズムの両方を、生態学的問題とフェミニストを解決する上で一緒に適用することができる。

DAFTAR ISI

DAFTAR ISI.....	i
HALAMAN PENGESAHAN.....	iii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iv
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	v
KATA PENGANTAR.....	vi
BAB I PENDAHULUAN.....	1
1.1 Latar Belakang	1
1.2 Rumusan Masalah	5
1.3 Tujuan Penelitian.....	5
1.4 Metode dan Pendekatan Penelitian	5
1.5 Organisasi Penulisan	8
BAB II FEMINISME.....	9
2.1 Sejarah Feminisme	10
2.2 Ekofemisme.....	13
2.2.1 Ekofeminisme Spiritual	16
2.2.2 Ekofeminisme Sosialis	20
BAB III EKOFEMINISME DALAM KAZE NO TANI NO NAUSICAA.....	22
3.1 Ekofeminisme dalam Cerita	22
3.1.1 Opresi Terhadap Alam dan Isu Ekologis.....	23
3.1.2 Pemahaman Alam dan Tindakan Penyelesaian Isu Ekologis	27
3.2 Konsep Ekofeminisme Spiritual dalam Karakter Nausicaa	33
3.2.1 Sikap Imanensi yang Tergambar ada Karakter Nausicaa.....	33
3.2.2 Keterhubungan Antara Nausica dengan Alam Sekitarnya	37
3.2.3 Kepedulian Nausicaa Terhadap Makhluk Hidup dan Lingkunganya	42
BAB IV KESIMPULAN.....	52
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	54
DAFTAR PUSTAKA.....	55